

東久留米市立南中学校 第2学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書くにあたり、考えを表現するための語彙が少ない。 古文・漢文について苦手意識のある生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の学習、辞書の意味調べを通して語彙を増やしていく。 音読を繰り返し行い、暗唱できるようにする。古典の知識を学ぶことで生徒の興味関心を引き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎週10点分の漢字小テストを行い、70%が7点以上を取れるようにする。 ○ 80%以上の生徒が暗唱課題を合格する。 ○ 80%以上の生徒が、ワークシートで評価B以上をとれるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的な事象を時代区分や年代ごとに整理する作業に対して苦手な生徒がいる。 地図や主題図から地理に関する語句や事柄について読み取ることに苦手な生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに前単元の内容を踏まえて比較して、まとめる活動を取り入れる。 地図や主題図などの資料を読み取る学習活動を多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 80%以上の生徒がワークシートなどの作業内容ができるようにする。 ○ 80%以上の生徒がワークシートなどの作業内容ができるようにする。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的基本的な計算力に個人差がある。 2つの変化する量の関係性とグラフの関係を見いだす力の差が大きい。 数学的に表現することについて苦手意識のある生徒が見られる。特にグラフを書くこと読むこと理解することに手間取る生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「解く力」において、基礎的基本的な計算演習を取り入れる。また、グラフの課題を加える。 授業や課題では、振り返りシートや練習問題などで数学的に表現する機会を設け、下位層の底上げを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元ごとの小テストや計算プリントを実施し、基礎的基本的な計算の正答率を75%以上を目指す。 ◎ 80%以上の生徒が、単元ごとの振り返りシートで、数学的に表現できるようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物、事象について、科学的に考えることが苦手な生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験レポートなどを通して、科学的に思考する機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 80%以上の生徒が、実験レポートで評価B以上をとれるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の諸要素や音楽用語についての知識が定着していない生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な用語の意味は授業内で確認しながら学習を進める。参考となる記述や発言を積極的に紹介し、語彙力を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 60%以上の生徒がプリント等で音楽の諸要素や音楽用語を用いて自分の考えを述べられるようにする。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 表現活動で、既習事項などを応用して制作に取り組む生徒が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> その日の学習内容以上の作品制作をする重要性を何度も伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 扇の制作で10%以上の生徒がA評価を取れるようにする。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を理解することはできるが、体の動かし方に繋げることが難しい生徒がいる。 コーディネーショントレーニングなどを通して、自分の体を思い通りに使うことができるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用し、正しい動きの見本を見せたりする。また、体の構造の理解を促す。 授業の中で運動を行う際の効率的な動きに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 学習カードの記入状況や評価テストを実施して検証する。 ◎ 運動の特性をおおむね理解できるB評価の生徒が、80%越えることを目指す。

技術	<ul style="list-style-type: none"> 考える活動の際にものごとを多面的に捉えられる生徒が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 考える中で、どのような視点に着目できるのかを例示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 60%以上の生徒が活動の結果をまとめる際に、多面的に捉えた内容を書けるようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 関心は高いが、生活経験が少ないので実生活で結び付けることができにくい傾向がみられる。 作品製作で、得意意識の生徒と苦手意識の生徒の差が大きく、進度において差が出てしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 実生活の中で、問題を発見し解決方法を提案し生活をよりよくするために、レポートを取り入れる。 毎時の各自の目標を明確にさせ、しっかりと取り組む意識をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 各自生活の中での課題を見付けレポート提出、おおむね良好のB評価の生徒80%以上を目指す。 ◎ 達成感を味わえるよう、作業の遅れる生徒には個別指導を意識し未完成の生徒が出ないようにする。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 4技能においておおむね積極的に取り組むが、特に即興での話すことには苦手意識のある生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 帯活動で話すことを取り入れ、つなぎ言葉を使った自由会話の時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ALTとのスピーキングテストを実施し、半数の生徒の80%達成を目指す。
徳特別の教科道	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見をもつ際に、多角的な視野で物事を捉えられていない生徒が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な意見を導けるように発問を工夫する。グループワークを通して、他者の考えを認め合う機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートや授業観察で評価する。80%以上の生徒が自分の考えを表現できることを目指す。
間総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをまとめ、伝えることの方法を増やすとともに発表内容の質を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 書画カメラやタブレット端末を用いたパワーポイントを活用した発表を行う。また、発表内容を振り返らせることで内容の質を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全員の生徒が発表する機会を学期に1回設け、70%の生徒が振り返り活動で、「発表内容が向上した」と実感できることを目指す。